

の回鶻文佛典斷片二葉も唐刻と説明してあるのは恐らく活字の誤りか、然らずんば編者偶然の誤謬であらう。

以上は簡単に圖譜中の重要なものと思料したものを紹介したのであるが、勿論此の以外にも研究家の立場によりて更に／＼重要なものもあらうし、さうでなくとも一紙一片みなそれ／＼價值を有し、輕視す可らざるものであることはいふ迄もない、吾人はかゝる資料の獲得に甚大の力を盡し、また之を公やけにして研究に資せられた大谷光瑞師及び探檢の任に當られた渡邊哲信、堀賢雄、橋瑞超、野村榮三郎の諸氏に對して深く謝意を表すると共に廣く之を世の好學の士に薦めてあらゆる方面から之が研究の試みられんことを切望する。

こゝに紹介を終るに當りて余輩はまた此の出版の事業に當つた國華社に對しても敬意を表せねばならぬ、當初此の書物の發行の計畫せられた時から到底損失は免がれない覺悟であつたと聞いて居るが、實際營利的の事業とは誰も思はぬであらう、萬一利益が得られたならばそれは豫期が外れたので意外の仕合せといふべきである、吾人は同社の爲にまた學界の爲に此の當て外れを希望するのであるが、ともかくも此の覺悟の下に同社が此の出版に當つたのは、全く學界の爲に盡したる美事といふべきで我等の謝意を表したい所である、加ふるに其の獨特の製版の妙技は印刷の精巧と相俟つて全く人をして實物に接するかと思はせる、此の點に於ては歐洲の此の種類出版に對しても、たしかに一步を抽んで居るものと思ふ。(國華社發行、定價八十五圓)